



平成 22 年 5 月 11 日

各 位

株式会社 エスケーアイ  
 代表取締役社長 酒井 昌也  
 ( J A S D A Q : コード番号 9 4 4 6 )  
 問 合 先 常務取締役管理本部長  
 兼経理部長 田川正彦  
 電話番号 0 5 2 ( 2 6 2 ) 4 4 9 9

## 平成 22 年 9 月期第 2 四半期累計期間 ( 連結・個別 ) 業績予想との 差異及び通期 ( 連結・個別 ) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年9月期(平成21年10月1日～平成22年9月30日)の業績予想について、平成21年11月9日付当社「平成21年9月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

### 1. 平成 22 年 9 月期 連結業績予想の修正等

( 1 ) 第 2 四半期 ( 平成 21 年 10 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日 )

( 単位 : 百万円 )

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	第 2 四 半 期 純 利 益
前回予想 ( A )	8 , 0 2 0	4 2 0	4 4 5	2 2 5
今回修正 ( B )	7 , 9 0 5	6 6 4	6 8 9	3 7 0
増減額 ( B - A )	1 1 5	2 4 4	2 4 4	1 4 5
増 減 率	1 . 4 %	5 8 . 1 %	5 4 . 8 %	6 4 . 4 %

### ( 2 ) 修正理由

当第 2 四半期連結累計期間につきましては、平成 21 年 11 月 9 日付で、売上高 80 億 20 百万円、営業利益 4 億 20 百万円、経常利益 4 億 45 百万円、当期 ( 第 2 四半期連結累計期間 ) 純利益 2 億 25 百万円の業績予想を発表いたしましたが、移動体通信機器販売関連事業において、売上高は当初計画を若干下回りましたが、高利益率の商品を順調に販売した結果、営業利益、経常利益および当期 ( 第 2 四半期連結累計期間 ) 純利益は当初計画を上回りました。

また、コールセンター事業 ( 保険分野 ) を運営する子会社の株式会社セントラルパートナーズにおいて、2 拠点体制とし複数の保険会社の新商品の取扱に注力し営業効率を大幅に改善した結果、当初計画に対し売上高、営業利益、経常利益および当期 ( 第 2 四半期連結累計期間 ) 純利益とも各々当初計画を上回りました。

したがいまして、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高79億5百万円（前回予想比1億15百万円減）、営業利益6億64百万円（前回予想比2億44百万円増）、経常利益6億89百万円（前回予想比2億44百万円増）、当期（第2四半期連結累計期間）純利益3億70百万円（前回予想比1億45百万円増）となる見込みであります。

（3）通期（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	15,270	735	750	370
今回修正（B）	15,270	930	950	465
増減額（B-A）	0	195	200	95
増減率	-	26.5%	26.7%	25.7%

（4）修正理由

通期につきましては、平成21年11月9日付けで、売上高152億70百万円、営業利益7億35百万円、経常利益7億50百万円、当期純利益3億70百万円の業績予想を公表いたしました。移動体通信機器販売関連事業につきましては通期の売上高は計画通り進捗する他、営業利益、経常利益および当期純利益は当初計画を上回る見込みであります。

また、コールセンター事業（保険分野）を運営する子会社の株式会社セントラルパートナーズにおいて、第3四半期以降も業績が順調に進捗し、売上高が計画通り推移する他、営業利益、経常利益および当期純利益は当初計画を上回る見込みであります。

したがいまして、通期につきましては、売上高152億70百万円（前回予想比増減なし）、営業利益9億30百万円（前回予想比1億95百万円増）、経常利益9億50百万円（前回予想比2億円増）、当期純利益4億65百万円（前回予想比95百万円増）となる見込みであります。

（5）ご参考：前期の実績（平成20年10月1日～平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期連結累計期間 （10/1～3/31）	7,218	277	309	109
通期（10/1～9/30）	14,750	774	802	329

2. 平成22年9月期 個別業績予想の修正等

（1）第2四半期（平成21年10月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期 純利益
前回予想（A）	7,700	438	435	215
今回修正（B）	7,526	599	595	292
増減額（B-A）	174	161	160	77
増減率	2.3%	36.8%	36.8%	35.8%

(2) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、平成21年11月9日付で、売上高77億円、営業利益4億38百万円、経常利益4億35百万円、当期(第2四半期連結累計期間)純利益2億15百万円の業績予想を公表いたしましたが、機種変更の販売台数が当初計画を若干下回ったものの、高利益率の商品(携帯電話端末および携帯電話周辺機器)の販売促進を積極的に推進した結果、売上高は当初計画を若干下回りましたが、営業利益、経常利益および当期(第2四半期連結累計期間)純利益は当初計画を上回りました。

したがって、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高75億26百万円(前回予想比1億74百万円減)、営業利益5億99百万円(前回予想比1億61百万円増)、経常利益5億95百万円(前回予想比1億60百万円増)、当期(第2四半期連結累計期間)純利益2億92百万円(前回予想比77百万円増)となる見込みであります。

(3) 通期(平成21年10月1日~平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	14,500	755	750	375
今回修正(B)	14,500	855	853	415
増減額(B-A)	0	100	103	40
増減率	-	13.2%	13.7%	10.7%

(4) 修正理由

通期につきましては、平成21年11月9日付けで、売上高145億円、営業利益7億55百万円、経常利益7億50百万円、当期純利益3億75百万円の業績予想を公表いたしましたが、第3四半期以降も引き続き高利益率商品の販売促進に努め、販売が順調に進捗するものと予想されるため、売上高は当初計画を達成すると共に、営業利益、経常利益および当期純利益は当初計画を上回る状況が予想されます。

したがって、通期につきましては、売上高145億円(前回予想比増減なし)、営業利益8億55百万円(前回予想比1億円増)、経常利益8億53百万円(前回予想比1億3百万円増)、当期純利益4億15百万円(前回予想比40百万円増)となる見込みであります。

(5) ご参考:前期の実績(平成20年10月1日~平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期累計期間 (10/1~3/31)	6,968	351	354	152
通期(10/1~9/30)	14,162	851	853	377

以上